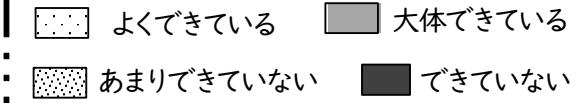


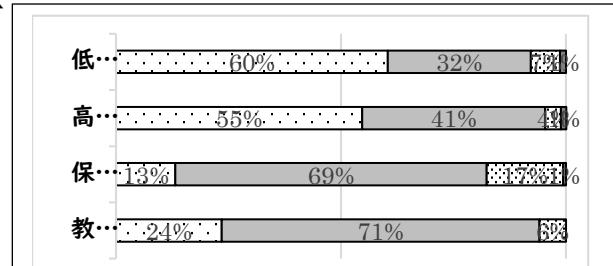
桃山南だより

令和6年度前期学校評価
京都市立桃山南小学校
校長 香村 明寛

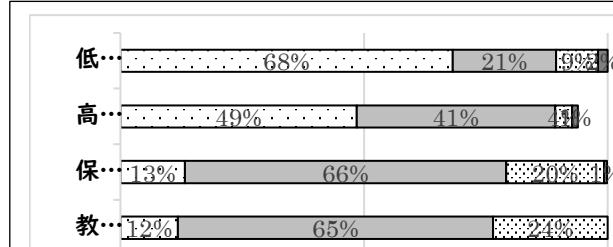
秋涼の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のことと存じます。
平素は本校の教育活動にご理解ご協力をください、厚くお礼申し上げます。前期に行いました学校評価アンケートの結果についてご報告いたします。「よくできている」「大体できている」を評価したものを肯定的にとらえ、分析を行いました。
お忙しい中、ご協力いただき、ありがとうございました。



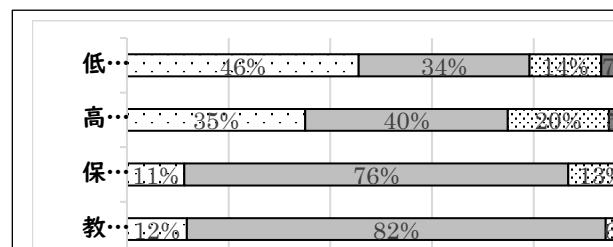
【自ら進んで粘り強く学習する子】



児童・・・授業がよくわかる
保護者・・・基礎的な学力が見につくように働きかけている
教職員・・・基礎基本が定着できるようなわかりやすい授業をこころがけている

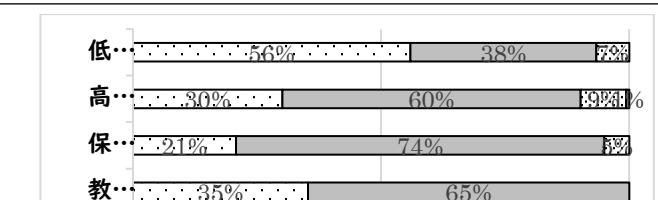


児童・・・進んで家庭学習（宿題など）をしている
保護者・・・家庭学習の習慣が身につくように働きかけている
教職員・・・家庭学習の習慣が定着するように取り組んでいる

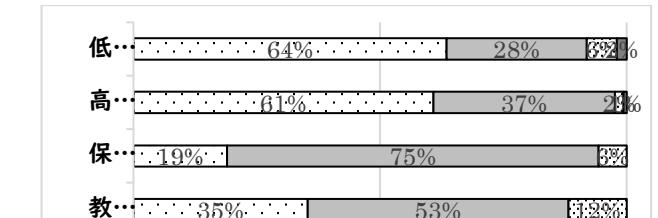


児童・・・授業では、自分のおもいを伝えることができている
保護者・・・自分のおもいが伝えられるように働きかけている
教職員・・・自分のおもいを伝えられるような授業や取り組みを工夫している

【思いやりをもち、自他を大切にする子】

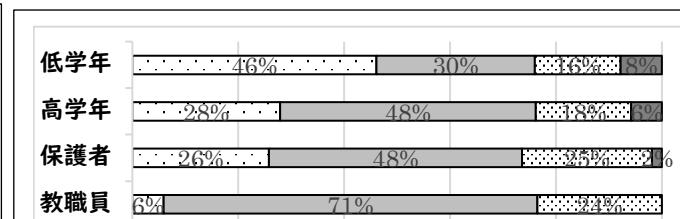


児童・・・学校の決まり・約束を守っている
保護者・・・学校の決まりや約束を守って生活できるように声かけをしている
教職員・・・約束や決まりを守ることで、みんなが気持ちよく生活できることを伝え、適切に指導している。

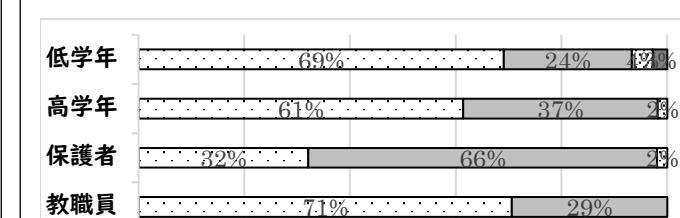


児童・・・友だちや周りの人を大切にしている
保護者・・・人を大切にした言葉づかいや行動を意識させている
教職員・・・人を大切にした言葉づかいや行動をするようにしている

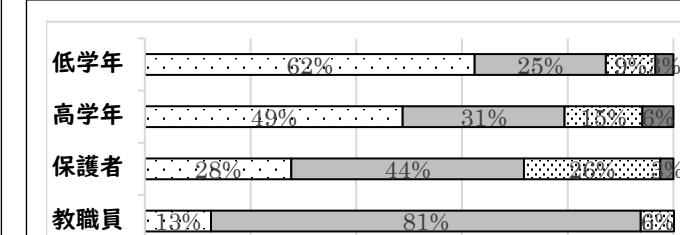
【健やかな心と体で元気いっぱい明るい子】



児童・・・早寝早起きをしている
保護者・・・家庭で、早寝早起きを習慣づけている
教職員・・・早寝・早起きなどの基本的な生活習慣が子どもに定着するように、子どもや家庭に働きかけている



児童・・・安全に気をつけ、命を大切にした行動をしている
保護者・・・安全に気をつけ、命を大切にした行動を意識させている
教職員・・・命の大切さ、命を守る行動をとることの大切さについて適切に指導している。



児童・・・スポーツや外遊びで、身体を動かしている
保護者・・・スポーツや外遊びで、身体を動かすように働きかけている
教職員・・・心と体を一体化としてとらえ、体育学習の充実に向け、授業や取り組みを工夫している。

全般的には、肯定的な回答が多く、8割を超える項目も多かったです。

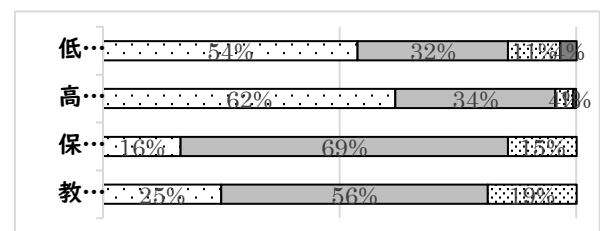
「自分の思いを伝えること」に関して、8割5分以上の保護者が働きかけたり、教職員が工夫したりする一方で、低学年・高学年ともに2割以上の子ができていないと答えています。恥ずかしくてみんなの前などで、自分の意見を言いづらい子も高学年になるにつれて、増えてくると考えられますが、学習での様々な場面で、自分の考え方や意見をもち、発表できることはこれから大事になってくるのではないかと思います。

あいさつについて、子どもたち自分自身でも、気づいているようになく2割くらいの児童が「あまりできていない」と回答しています。児童会などで、声かけをしっかりとしていきたいと思います。

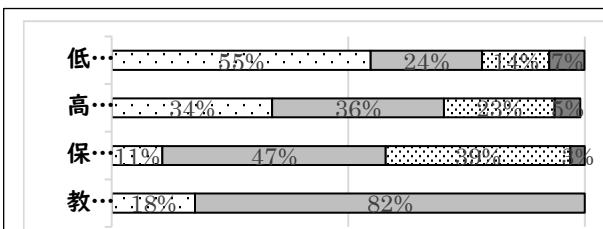
スポーツ・外遊びは、7月にアンケートをしているので、熱中症の心配もあり、あまりできていないと回答が多いです。(例年、7月は低いイメージです。)

また、早寝早起きも、「あまりできていない」「できない」の否定的な意見が2割ほどあり、家庭と協力しながら規則正しい生活リズムの定着・向上を目指していきたいです。

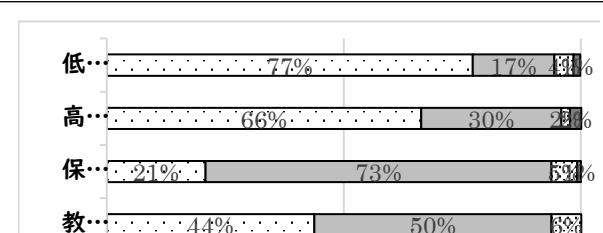
【学校生活について】



児童・・・家で学校の出来事を話している
保護者・・・お便りやHP、子どもの話などから学校での子どもの様子を把握するようにこころがけている。
教職員・・・お便りやHPで、学習活動のねらいや子どもの様子を伝えている。

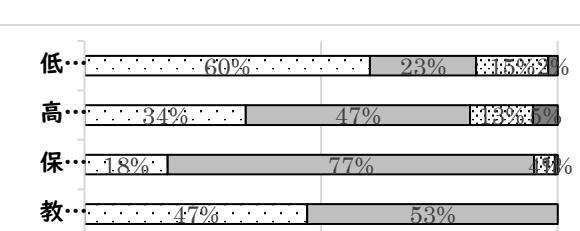


児童・・・PTAや地域の行事には、楽しみにしていることがある
保護者・・・PTAや地域の行事に参加できるように働きかけている
教職員・・・開かれた学校を目指して、地域や保護者と連携・協力することを意識している

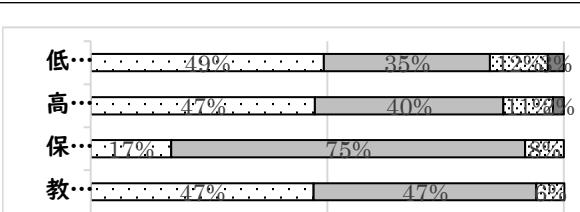


児童・・・学校では、楽しく過ごしている
保護者・・・楽しく学校に通えるように家庭でも働きかけている
教職員・・・子どもが楽しんで学校へ行きたいと思える学級・学校経営をこころがけている

【いじめ対策について】

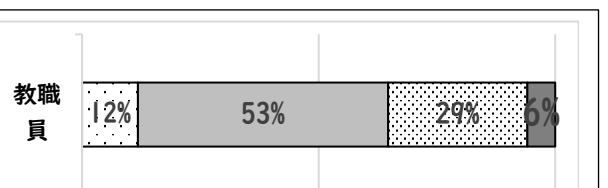


児童・・・困ったときには、学校の先生に相談している
保護者・・・困ったときなどは、学校や担任に、質問したり相談するように働きかけている
教職員・・・困ったときなどは、学校や担任に、質問したり相談するように働きかけている。



児童・・・自分の身の周りでいじめが起こらないように努力している。
保護者・・・子どもの身の周りでいじめが起こらないように、子どもの様子を把握するように心がけている。
教職員・・・子どもの身の周りでいじめが起こらないように、子どもの様子を把握するように心がけている。

【働き方改革について】



教職員・・・働き方改革を意識して、業務改善にとりくんでいる。

学校での出来事を、家庭で話している子が多く、学校からもHPなどで様子は伝えられているのではないかとかんがえます。また、楽しく学校で過ごしている児童も低学年・高学年とも9割を超えており、今後もこれが続けられるよう、そして、全員が楽しく過ごせる学校づくりをしていきたいです。(楽しくないと思う児童がひとりでもいないようにしたいです。)

PTAや行事については、先日の学区民体育祭での表情や参加人数を見たら、すごく楽しんでくれている子が多いなと感じました。今後も、桃山南まつりやドッジボール大会などが計画されており、保護者の方にも、働きかけていただけたらと思います。(夏の映画大会は、荒天のため中止になってしまいました。)

困ったときに、学校の先生に話せない子が低学年・高学年とも2割ほどいるので、その子たちが保護者に話せていたり、その他の解決方法をもっているか気になります。学校でも、少しでも話せしやすい関係性を築くために、担任をはじめとする教職員が、些細なことでも気づき、サポートできるような体制が必要だと感じました。

【自由記述より】

○毎日楽しく通えるようになり、安心しています。以前学校の前を通ったときに、体育の授業中でリレーをしており、どの学年かは分かりませんが、走っていない子たちも一生懸命応援している姿を見て、学校でも日常が戻ってきていることを実感しました。色々な制約や周囲への配慮もある中かと思いますが、子どもたちが生き生きと元気いっぱいに取り組んでいる姿を運動会でも見られると嬉しいです。

○先生はよく見ていただいていると感じます。親がどれだけ教育してもそれが子どもの行動に伴っていないこともありますどかしい場面が多々ありますが、先生が間に入ってきたことにより解決できていることに感謝致します。

○宿題が少し多く感じます。やっつけ仕事になりがちなので、量より質を高められたうが有効かと思います

○マスク生活から解放され、友達との関わりも深まっているなとうれしく思っています!元気に通っています。

上記以外にも多くのご意見をいただきました。ご意見はすべて読ませていただき、早速改善させていただいたこともあります。今後もご意見をいただき、教育活動に生かして参りたいと思います。貴重なご意見とご協力ありがとうございました。

○学校運営協議会理事会での話し合いから

- ・いじめは表面化したときには、深刻になっていることが多いから、起こらないように、教員・家庭などが、しっかりと見ていくことが必要。
- ・昔は、学校に来ないとすることがなく、来れなかったら暇をすることが多かったが、最近は、学校に来なくとも、学習を進めることができ、動画やゲームなど楽しく過ごせることが多い。
- ・教職員の意識として、肯定的にとらえられない部分については、学校として取り組みを高めてほしい。(←職種によってできないところがあったので、後期は改善する予定。)